

企画展 大原女

— 柴売りから観光資源へ —



[会期] 2013 年 1 月 28 日 (月) ~ 2 月 23 日 (土)

[会場] 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

《会期中のイベント》

ギャラリートークと大原女衣装着付けのデモンストレーション

解説: 青木美保子ほか 協力: 大原観光保勝会 日時: 2013 年 2 月 20 日 (水) 11 時より 場所: 1 階第 2 展示室 (申込不要)

[主催] 京都工芸繊維大学文化遺産教育研究センター / 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 / NPO 法人 京都古布保存会

[協力] 文化学園大学文化ファッション研究機構 / 京都・大学ミュージアム連携

京都ではお馴染みの「大原女さん」。京都からイメージする図像として代表的な「舞妓さん」と同じくらいその知名度は高い。「大原女」が一般に広く知られている背景には、平安時代より近代に至るまで京都の市井の生活に密着した大原女の文化があった。このように京都イメージとして取り上げられる「大原女」だが、もはや京都には、その本来の文化、つまり大原の女性の主に柴の販売を中心とした行商の文化は残っていない。現在、「大原女」文化は、大原観光保勝会（昭和30年設立）の活動によって、その衣装や風俗が、観光資源として生かされ、こうした活動が、伝統文化の保存活動にもつながっている。

しかしこうした活動も、その多くはボランティアによる活動であり、さらに、「大原女」の文化を記録した資料は少なく、この貴重な文化の正確な伝承が危ぶまれるといった状況もある。

こうした現状を踏まえ、2011年度、NPO法人京都古布保存会によって、第1回大原女衣装調査（京都府地域再生プロジェクト支援事業）がおこなわれた。そして2012年度は、NPO法人京都古布保存会に加え、京都工芸繊維大学文化遺産教育研究センターと文化学園大学文化ファッション研究機構「近代京都の着物図案に関する研究」プロジェクトの活動の一環としても大原女衣装の調査をおこなった。

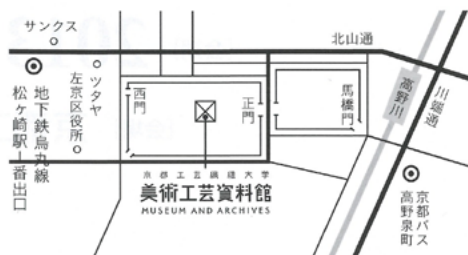
今回の展示企画では、この大原女に関する調査をおこなった京都工芸繊維大学文化遺産教育研究センター、NPO法人京都古布保存会、文化学園大学文化ファッション研究機構「近代京都の着物図案に関する研究」プロジェクトの調査結果をもとに、「大原女」に関する資料を厳選し、展示することで、京都イメージとして知名度はあるもののその詳細については忘れ去られつつある「大原女」の文化を、一般に広く紹介したい。

この企画展が、京都伝統文化の伝承活動への一助となり、さらには、京都の観光資源「大原女」の広報活動にもつながれば幸いである。



京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 MUSEUM AND ARCHIVES

開館時間 ● 午前10時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
休館日 ● 日曜日・祝日
料金 ● 一般200円、大学生150円、高校生以下無料
住所 ● 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
tel ● 075-724-7924
fax ● 075-724-7920
URL ● <http://www.cis.kit.ac.jp/~siriyokan/>



大学正門までのルート

● JR「京都」駅、阪急「烏丸」駅から、市営地下鉄烏丸線「国際会館」行に乗り、「松ヶ崎」駅下車、「松ヶ崎」の「出口1」から右（東）へ約400m、4つ目の信号を右（南）へ約180m（徒歩8分）
● 京阪「出町柳」駅5番出口から、京都バス「大原」行、「岩倉実相院」行、「岩倉村松」行に乗り、「高野泉町」下車、橋を渡り左（西）へ約200m（徒歩8分）